

新たな出会いと感動が ここから生まれる

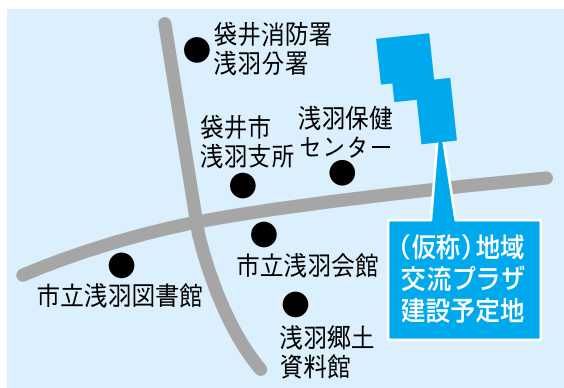
～ 「(仮称)地域交流プラザ」の整備を進めます～



浅羽会館の老朽化に伴い、市南部地域における新たな「にぎわい」と「交流」の拠点施設として、(仮称)地域交流プラザの整備を進めています。施設整備の基本となる設計が完成しましたので、平面図やイメージ図、諸室の機能などについて紹介します。

☎ 地域建設課会館建設室

☎ 23-9239



敷地面積 約14,000㎡
延べ床面積 約4,000㎡

施設の概要
建物は鉄筋コンクリート造一部2階建てで、「文化活動」「子育て支援」「健康づくり」の機能を持つ複合施設として整備します。
建設場所 袋井市浅羽(浅羽保健センター東側)

**浅羽支所周辺の
一体的なまちづくり**
浅羽支所周辺は、浅羽会館、浅羽保健センター、浅羽図書館、浅羽郷土資料館などの公共施設が集まる市南部地域の中心部です。
(仮称)地域交流プラザの整備をきっかけとして、景観や環境、快適性に配慮した一体的なまちづくりを進めます。

施設のメインとなるホールは、約500人を収容し、音楽、演劇、講演会など利用人数や催し物の内容に応じて形態を変えることができます。
客席のいすは可動式で、収納することによって約500㎡の平らな床になります。現在の浅羽会館同様、エアロビクスや社交ダンスなどの軽運動にも対応でき、災害時には避難所となります。
ステージは、現在の浅羽会館の1・8倍、月見の里学遊館の1・3倍の面積です。

**特徴その1
変幻自在な多機能ホール**

景観計画
隣接する浅羽支所や浅羽保健センターに合わせた色彩を建物の外観に組み込み、周辺の景観に調和した外観デザインとします。
建物は、約500人を収容する多機能ホールを有する大規模な施設となるため、建物を施設機能ごとに区切ることで周辺への圧迫感を軽減し、田園が広がる原風景になじみやすいよう配慮します。
建物周辺は、舗装範囲を最小にとどめ、緑地を確保するとともに、植栽を多くし、緑豊かな風景づくりを行います。

特集 新たな出会いと感動がここから生まれる～「(仮称)地域交流プラザ」の整備を進めます～

特徴その2

環境に配慮したパッシブソーラーシステムを採用

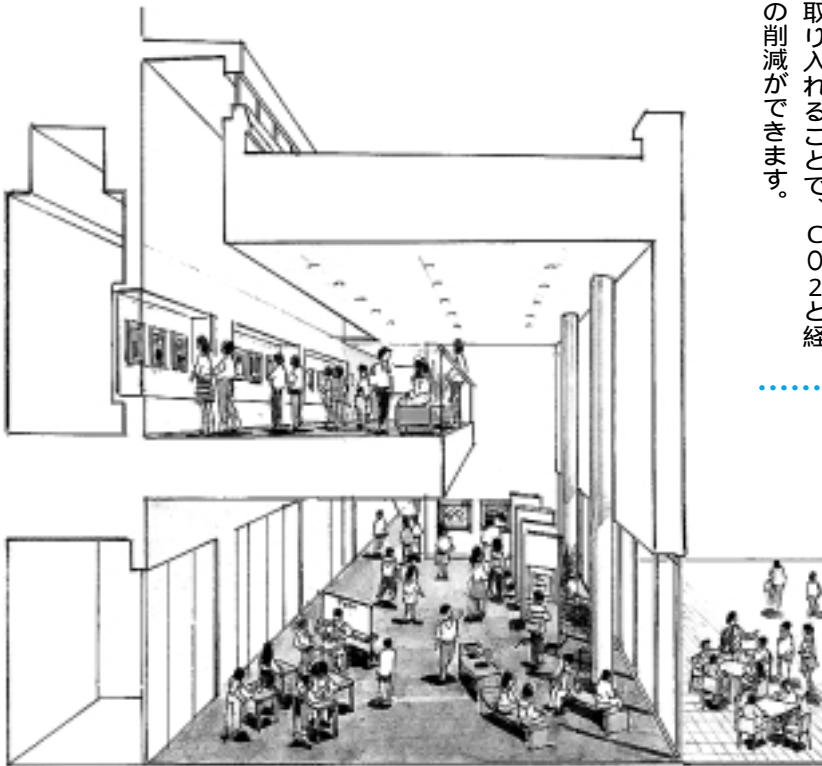
空調設備の補助機能として、「パッシブソーラーシステム」を採用します。大気熱や地下熱の自然エネルギーを利用した環境に優しい空調で、夏は地下のパイプから冷気を取り込み、冬は建物の南面の外壁に設けた集熱パネルで空気を暖め、ダクトにて1階のガレリアなどへ吹き出します。空調に外気を取り入れることで、CO2と経費の削減ができます。

特徴その3

交流の機会を創出する「ガレリア」

ガレリアに面した調理室やものづくり工房などの諸室は、ガレリアから内部の活動状況が見える構造で、来館した皆さんが互いの活動から刺激を受け、新たな生涯学習の機会を創出できるよう配慮しました。

()ガレリア：アーケード。歩行者空間。

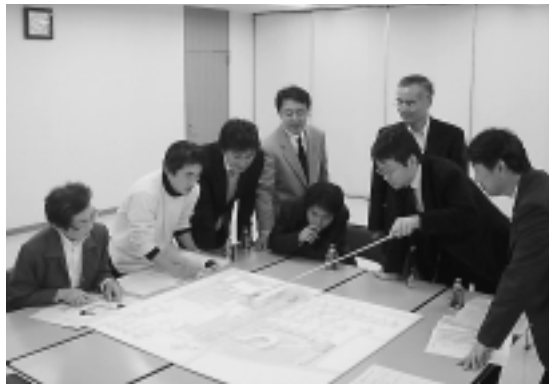


ガレリアのイメージ図

市民協働で作った設計図

(仮称)地域交流プラザの基本計画と基本設計は、平成19年2月から市民ワークショップを立ち上げ、「文化活動」「子育て支援」「健康づくり」の3部会で、調査研究してきました。

「デザイン性よりも機能性を重視し、利用形態に合わせてスペースを変更できる方がよい」との意見など具体的な市民の視点を設計に生かしました。

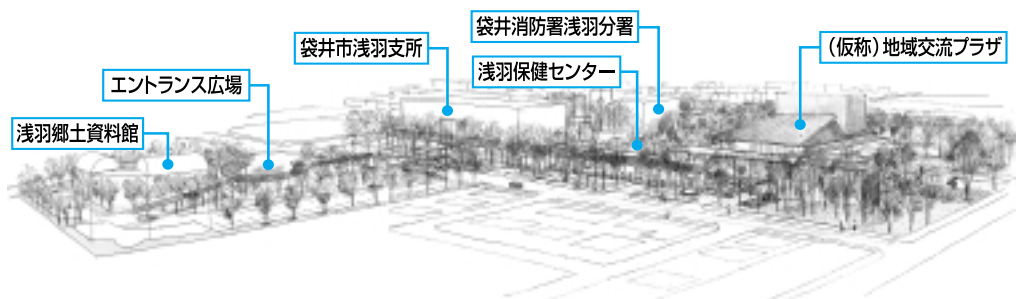


今後の予定

- 8月 造成工事着工
- 10月 実施設計完了
- 平成20年1月 建築工事着工
- 平成21年2月 建築工事完了
- 平成21年3月 落成
- 平成21年4月 供用開始

(仮称)地域交流プラザ 住民説明会

日 7月26日(木)
 時 午後7時～
 (開場午後6時30分～)
 所 浅羽会館大ホール
 申し込み不要です。直接、会場へお越しください。



浅羽支所周辺全体のイメージ図